

2019年度

2020年度

◆29,177ユーザー

◆238,338ページビュー

e-Lifesaving 2021年度

◆68,676ユーザー (235%増)

◆1,835,506ページビュー (770%増)

1-1. e-Lifesaving 新規コンテンツの制作報告

New!

◆e-Lifesavingで一番視聴されている「事前学習」に、海編は「教えて！ライフセーバー」、川編は「教えて！川遊びリーダー」を新規制作した。

⇒それぞれの専門家が直接、水辺を楽しむための安全アドバイスや、自然の魅力を伝える内容となっている。



1-2. e-Lifesaving 新規コンテンツの制作報告

みんなで考えよう！



海でのできごと

離岸流ってなに？

川でのできごと



New!

7分19秒の動画

制作協力：
公益財団法人河川財団
NPO法人川に学ぶ体験活動協議会



①子ども4人で河原で遊んでいたところ、弟のサンダルが流されてしまいました。



③上流から来たカヤッカーからライフジャケットを渡され、救助（119番通報）が来るのを待つことに。



⑤バックアップをしていたカヤッカーのロープレスキューにより、お兄ちゃんは怪我をすることなく安全に助けられました。



②お兄ちゃんが弟のサンダルを取りに行った時、川に流されてしまいました。



④しかし、安定しない岩場から再び流されてしまいます。



⑥弟のサンダルを拾ってあげたかった優しいお兄ちゃんに対し、カヤッカーは「一番大切なものは何だかわかる？」と穏やかに問いかけます。

1-3. e-Lifesaving 新規コンテンツの制作報告

New! **学習のポイント**
 動画を見たあとで、復習しよう。

子どもだけで川に遊びに行くことってどう思うかな？	こうしたゴミを見た時、どんな気持ちになるかな？	川で遊ぶときはどんなことがよいかな？	この川を見てどんなところがあぶないと思う？
もしも、このようにサンダルが流されてしまったらどうすればよいかな？	119番通報をしたら、どんなことを伝えればよいかな？	ライフジャケットを着るとき、どんなことに気をつけたらよいかな？	ライフジャケットを着ているときに流されたらどうすればよいかな？

①動画で考えよう！「川でのできごと」の中で出題される質問が「学習のポイント」のページに収納されており、振り返り学習や、要点整理として活用することができる。

Q

ライフジャケットを着ているときに流されたらどうすればよいかな？

②動画で考えよう！「川でのできごと」16分06秒の動画
 指導者は一時停止しながら、児童生徒の主体的、対話的な学びを促せるような設定になっている。動画のそれぞれの場面において、全部で9つの質問が自動的に出題される仕組みになっている。



A

落ち着いて、空を見て力をぬきましょう。
両手を広げて、両足を水面にうかべます。

A

フットエントラップメント

特に流れがある場所では、無理に立とうとすると

A

模倣実験
フットエントラップメント

動画再生まであと 3 秒

足が石などにはさまってしまうことで息ができなくなってしまいます。

1-4. e-Lifesaving 新規コンテンツの制作報告



① 指導者用ページの設置

ここには『みんなで考えよう!』の**具体的な進め方**について掲載しており、**どなたでも**水辺の安全教育活動に携われるような仕組みとなっている。

上段にある約7分の動画を視聴してもらった後に、質問が随所に出てくる「動画で考えよう」を視聴することで、児童生徒が**より主体的に考える**機会をつくることができる。

New!
指導される方へ

まずは、全体を通して子どもたちに見てもらいます。

約7分間の動画です。何気なく川へ立ち寄った子どもたちに起きた出来事を通して、水辺の安全について考えます。特に詳細な説明はせず、まずは流して見せてください。

次に、動画内に出てくる問いに対して考える時間を持ちます。

上と同じ動画の中に、9の問い（学習のポイント）を設定してあります。指導される方が適時画面を停止（再生）し、子ども達に考えさせる時間や話し合いの時間、記入や発言等を促して下さい。主体的、対話的な学びを深めることで、より実践的な知識に繋がります。

指導される方には、下段にある『学習のポイント～指導上の留意点～』をあらかじめお読みいただくことを推奨します。

1-5. e-Lifesaving 新規コンテンツの制作報告

New!

② 指導者用ページの設置（教材研究に最適！）

左記、学習のポイント～指導上の留意点～では、下段の動画『みんなで考えよう!』に出てくる9つの質問を**あらかじめ確認し、指導上の留意点を確認することができる。**

指導される方へ

学習のポイント

～指導上の留意点～

子どもだけで川遊びに行くことってどう思うかな？	こうしたゴミを見た時、どんな気持ちになるかな？	川で遊ぶときはどんなことがよいかな？	この川を見てどんなところがあがないと思う？
もしも、このようにサングラが流されてしまったらどうすればよいかな？	119番通報をしたら、どんなことを伝えればよいかな？	ライフジャケットを着るとき、どんなことに気をつけたらよいかな？	ライフジャケットを着ているときに流されたらどうすればよいかな？
	川に遊びに行くときは、どんなことに気をつければよいかな？		

水辺の「ひやりはっと」事例は「滑る」「流される」「落ちる」の3つが上位を占めていることから、活動の際の装備が重要であることがわかります。

河川財団調査 P7
【水辺のヒヤリハット 最上位は「滑る」】



指導を行う上で、**補足する部分や教養としての幅を広げるための動画の紹介などが散りばめられている。**

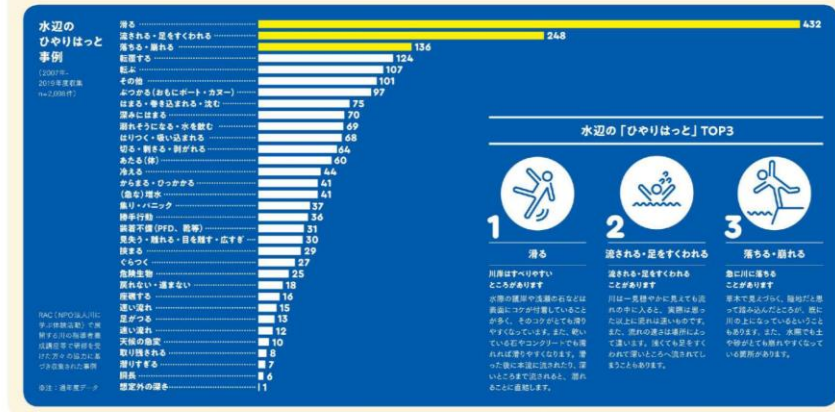
3 暮らしと防災

河川財団調査 Sheet 41

水辺の「ひやりはっと」最上位は「滑る」

(2003年-2019年)

全国の川の体験活動の指導者が水辺で「ひやり」とした事例を収集・分類したところ、最も多い事例は「滑る」で、全事例の2割を占めていました。続いて「流される」「落ちる」の行為による事例が「ひやりはっと」の上位3位を占めています。このように、水辺に入る・近づく際には予期せぬ事態が起こるため、活動の際には装備を整え、活動する場所が存在する危険を予見することが重要です。



1-6. e-Lifesaving 新規コンテンツの制作報告

水辺の事故を防ごう！



Water Safety 水辺の事故ゼロをめざして



<指導者向け>今すぐ授業に導入できる！水辺の安全教育



ライフセーバーが教える水辺の事故の防ぎ方～オンライン授業の様子～ ※ソーシャルノバージョンニュース



水辺の事故を減らすために、今できること ※吉川慎之介記念基金



日本財団 海と日本プロジェクトスペシャル この夏、海へ行く君へ



ライフジャケットの「水辺の安全教室」(夏休み前編) ※カッパちゃんねる

海で安全に遊ぶために



助けてサイン



【再現動画】人の溺れの一瞬(ライフセーバーによる再現)



「飲んだら、泳がない。」どうして?飲酒後の入水は危険!日本ライフセービング協会のメディカルディレクターが解説



日本財団「海と日本プロジェクト」うみダンス



津波フラッグは避難の合図～気象庁×日本ライフセービング協会～

川で安全に遊ぶために



安全な川遊びのために(第1部 子ども向け) ※河川財団



安全な川遊びのために(第2部 指導者・保護者向け) ※河川財団



<小学生向け>「リバーアドベンチャー」川に魅せられし者たち～ ※国土交通省 河川環境課

ライフセービングを知ろう！



Project of JLA



【JLA ACADEMY】BLS デモンストレーション/ガイドライン2015対応 (BLSデモンストレーション)



The 44th JAPAN NATIONAL LIFESAVING CHAMPIONSHIP (ライフセービングスポーツ)



Lifesaver has restarted.



【ライフセーバーメッセージ】STAND INSIDE THE CIRCLE

環境について知ろう！



海さくらと拾い～LIFESAVER BEACH CLEANの巻～ ※NPO法人海さくら



海なし県なのに海ゴミ対策！ ※ソーシャルノバージョンニュース



プラスチックごみの実態 日本財団 海と日本PROJECT in TOKYO 2019



海と日本プロジェクト CHANGE FOR THE BLUE ～海ごみ出前授業～



【愛媛県】美しい瀬戸内海の裏に隠れ海ゴミ問題！ソーシャルノバージョンニュース



プラスチックごみってどこへいくの? ※City Of Yokohama

生き物について知ろう！



【LIVE配信】リアル水族館 沖縄の海をお届け！



【砂浜編】危険生物マニュアル



【磯編】危険生物マニュアル



【沖編】危険生物マニュアル

New!
◆関連資料の充実とカテゴリ分け

1-7. e-Lifesaving 新規コンテンツの制作報告

New!



- ◆実験動画
様々な離岸流を追加

New!



わが国に未曾有の被害をもたらした東日本大震災から10年が経ちました。失われた尊い命の約9割は津波が原因であり、あの惨禍を繰り返さないため、防潮堤などのインフラ整備や避難情報の迅速な伝達は勿論のこと、防災に対する一人一人の知識と意識の向上が基盤となることは言うまでもありません。

私も、CDR（子どもの死亡事例を検証し、予防可能な死を防ぐ取組み）を初めて法律に明記した成育基本法や、死因究明等推進基本法の議員立法など、社会全体で防災・事故防止の推進に取り組んでおります。

海や河川は楽しいレジャーや数多くの恵みをもたらす場であると同時に、本来的に危険をはらんでいることを再認識して、水辺の事故ゼロをめざす取り組みを一緒に進めていきましょう。

参議院議員 自見はなこ
[公式ホームページはこちら](#)



水辺は本来、子ども達にとって、とても楽しいところです。そこで起きる悲しい事故を減らしたい、そんな想いで活動しております。

この素晴らしいe-Lifesaving教材を用いた水辺の安全学習で、防ぐことのできる水難事故はたくさんあります。「サンダルバイバイおやこ条約」も、条約証書1枚で出来る、とてもシンプルな水難事故の予防策の1つです。ご家庭では、もちろん、学校での授業や宿題として、ご活用頂けましたら幸いです。水辺からの帰り道、誰もが「楽しかったね、また来ようね!」と笑顔で言える社会を目指し、これからも微力ながら活動してまいります。

NPO法人AQUAkids safety project
すがわらえみ
[公式ホームページはこちら](#)

- ◆〈水辺の安全〉応援メッセージ追加
 - ・自見はなこ様
 - ・すがわらえみ様

New!



お気軽にお問い合わせください

児童生徒への授業や安全講習の実施、教職員への研修等（プール指導、オンライン講習、講演等）

それぞれの学校や団体のニーズに合わせて柔軟に対応致します。

ご相談、ご質問、お申し込みはこちらへ

お問い合わせ

◆お問い合わせ新設

2-1. e-Lifesavingを活用した授業展開と調査

香川県坂出市川津小学校 2021年7月8日（木） 5年生対象

■ <https://sonae.uminohi.jp/n/n5ab65658cc1d>

修学旅行中の旅客船沈没事故。全員生還の“奇跡”を生んだ現場対応と事前のそなえとは？

出典；海の事故ゼロの未来をつくるノート



■ ライジャケサント森重さん、地域、民間からのライフジャケットの寄贈を受け、地元行政、教育委員会バックアップのもと「いのちの教育」が実現

JLA教育本部、香川県連盟が協力し、e-Lifesavingとウォーターセーフティ実技をおこなった



四国新聞

奇跡ジャケットで命を守る

坂出市に寄贈されたライフジャケットを活用し、川津小学校（白川豊浩校長）は8日、同市川津町の同校で水難事故防止教室を開催。児童はライフセーバーから川、海で遊ぶ際の注意点やライフジャケットの正しい使い方を学び、水辺で楽しく遊ぶために必要な知識や技術を身に付けた。

教室は水辺で自分の命を守るために必要な力を高めてもらうのが狙い。日本ライフセービング協会の松本貴行副理事長やライフジャケットの寄贈に携わった森重裕二さんらを講師に招き、5年生約40人が参加した。

川津小、専門家招き教室

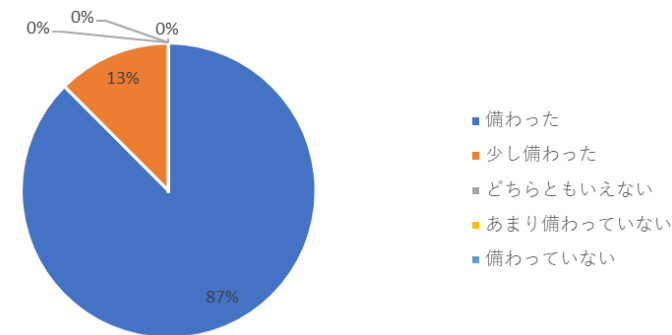
松本副理事長は「水辺の事故は誰もが遭遇する恐れがある、溺れている人を助ける際には必ず道具を使うように」とアドバイス。海釣り中に子どもが転落した際にクーラーボックスやペットボトルを投げ入れると、浮具として利用できることを説明した。

この後、児童はライフジャケットの着用法を教わり、プールでの訓練に挑戦。「速く泳ぐ必要はなく、疲れないように移動することが重要」などと指導を受け、リラックスした状態でおむけになったり、手足をゆったり動かしたりして、浮かぶ感覚確かめていた。佐藤大仁君（10）は「海や川で遊ぶのは好きなので、習った方法をきちんと守りたい」と話した。

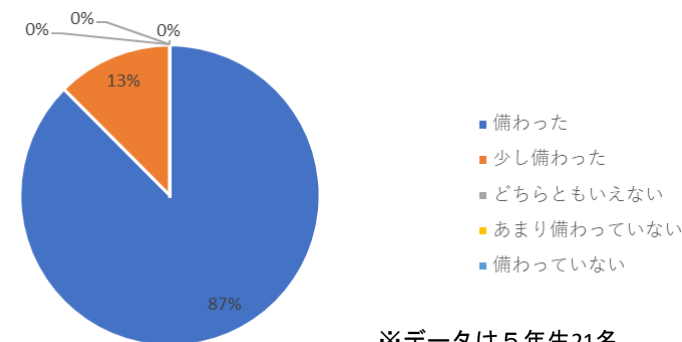
ライフジャケットを備用し、おおむけになって浮かぶ感覚を確かめる児童
坂出市川津町川津小



授業を受けて水辺で安全に遊ぶための**知識**は備わりましたか？



授業を受けて水辺で安全に遊ぶための**技能**は備わりましたか？



※データは5年生21名



知識 = e-Lifesaving
技能 = Water safety

→学校の水泳授業において、児童が水辺で自らの命を守るための**知識**と**技能**を身に付けることは可能



2-2. e-Lifesavingを活用した授業展開と調査

JLA都道府県協会、加盟クラブ×学校での授業実施への展開

各都道府県市区町村
教育委員会宛 又は
各小、中学校宛

2021年5月

公益財団法人 日本ライフセービング協会

JLA各都道府県協会、JLA加盟クラブ

水辺の安全教育促進における教材のご案内

子ども達の「水離れ」は、水辺の安全に対する意識の低下や、水の中での身のこなし等、体験不足に直結します。今夏、そのような状態で子どもたちが海や川へ向かった時に、水難事故に遭ってしまうことだけは避けなければなりません。つきましては、以下の教材や動画をご活用いただき、少しでも水泳授業の基礎となる「安全教育」に繋がればと考えております。

■e-Lifesaving ICT教材(PC、タブレット、スマートフォンからご利用いただけます)

守ろう!いのち 学び合おう!水辺の安全 Swim&Survive(jla-lifesaving.or.jp)

※文部科学省「子供の学び応援サイト」に掲載/スポーツ庁「水泳等の事故防止について(通知)」令和3年4月26日付に掲載



夏休みの課題に

水泳の事前指導に

夏のレジャー前に



■小学校・中学校 新学習指導要領

- ✓「水泳運動の心得」
- ✓「安全確保につながる運動」
- ✓「水泳(水辺)の事故防止に関する心得」



制作協力: 学研教育みらい



プール実技ができない時に

教職員への研修に

夏休み前の総合学習に

■ニュース記事 (e-Lifesaving の全容がご理解いただけます)

<https://news.yahoo.co.jp/byline/andorisu/20210510-00235599/>



■「e-Lifesaving」の活用ガイド 小学校中学校教諭向け研修動画
<https://youtu.be/p8Am1f5xsDc>



■コロナ禍こそ水辺のそなえを ～ライフセーバーが教える水辺の事故の防ぎ方～
<https://youtu.be/4nw62q9BaGk> ※オンライン授業の様子がイメージいただけます



■「幼稚園のプール活動・水遊びでの溺れ事故を防ぐために」 幼稚園教諭向け研修動画
<https://youtu.be/cWa-PqEZ1bU> (消費者庁消費者安全調査委員会)



上記教材を自由にご利用いただければ幸いです。同時に全国にいるライフセーバーによる指導、講演派遣やオンライン授業も実施可能です。一人でも多くのお子さまにこの教材や教育が行き届き、安全を楽しく学び、悲しい水の事故を無くすことにつながれば、との一心です。

最後までご視聴、ご一読下さり、誠にありがとうございました。

JLA各都道府県協会、
JLA加盟クラブ
窓口担当者連絡先



水辺の事故ゼロをめざして
日本ライフセービング協会



【実践事例】京都府宮津市内への出前授業

◀背景▶2年間水泳授業の中止。宮津市は海や川、水路などが身近に存在する。

◀実施校▶ **市内合計 651名**
吉津小学校/児童48名 宮津小学校/児童460名
府中小学校/児童70名 栗田小学校/児童73名

◀内容▶
e-Lifesaving+ライフジャケット着用体験

◀連携・実施クラブ▶ 京都府ライフセービング協会
天橋立ライフセービングクラブ

※今回は授業実施したものの調査には至らなかった。



7月13日 海や川での命を守ろう



京都府ライフセービング協会の方に来ていただき、海での命の守り方についてお話をさせていただきました。聞いた内容をもとに、水難事故にあわない楽しい夏休みにしてほしいと思います。

【翌日の学校HPより】

2-3. e-Lifesavingを活用した授業展開と調査

～アクラブ（スイミングクラブ）との連携、協同～
※今回は授業実施したものの調査には至らなかった。



会場	開催日	時間	参加人数	指導員
八王子①	7月18日（日）	14:30～16:00	19	安達、横倉
稲城①	7月23日（金）	9:00～10:30	27	安達、横倉
稲城②	7月27日（火）	9:00～10:30	24	安達、竹田
藤沢①	7月29日（木）	11:00～12:30	22	安達、入谷
藤沢②	7月30日（金）	11:00～12:30	22	安達、大熊
八王子②	7月31日（土）	9:00～10:30	19	安達、入谷
調布①	8月5日（木）	9:00～10:30	27	安達、小林
調布②	8月6日（金）	9:00～10:30	24	安達、入谷
堀之内①	8月10日（火）	9:00～10:30	17	大熊、篠田
堀之内②	8月11日（水）	9:00～10:30	19	大熊、篠田

各店舗の参加人数
と全店舗の合計参加人数

調布店	27/24	計51名
藤沢店	22/22	計44名
八王子店	19/19	計38名
稲城店	17/17	計34名
堀之内店	17/19	計36名

全店合計 203名

座学での実施内容

e-Lifesavingを使用しての座学

集合時間を利用して、みんなで考えよう！「海でのできごと」を流して視聴。
挨拶、今日の流れ、目的 ⇒ この『命を守るための水泳授業』で何を学ぶのか確認

30分

- ①クイズ 初級編 1 問目 日本での水辺の事故について
- ②資料集『Project of JLA』 ライフセーバーって？
- ③事前学習 海編、川編 海の注意すべきところは？ 海編→風、離岸流など
川編→河川財団が協力して作成。是非、自宅で。
- ④動画で学ぼう！ 実技で行う内容を確認。
『浮く①、④』『ライフジャケットの有無』『トーク、リーチ、スロー』『ライフセービングバックストローク』
- ③事前学習 プール編 シャワーを浴びる、準備体操をする。



実技

①【ライフジャケット体験】

- ・正しい装着の仕方（子どもに考えさせながら）
- ・ライフジャケットの利点
- ・浮く ヘルプポジション（ハドルポジション）
- ・移動する
（バタ足、ライフセービングバックストローク）
- ・コンパクトジャンプ
- ・アクシデンタルフォールイン

or

実技

②【着衣泳体験】

- ・泳いでみよう（普段との違いを知る）
- ・浮いてみよう
- ・道具を使って浮いてみよう。
ビート板、ペットボトル
- ・スローに挑戦
（ペットボトルに水なし、水あり）
助ける、助けられる両方体験。

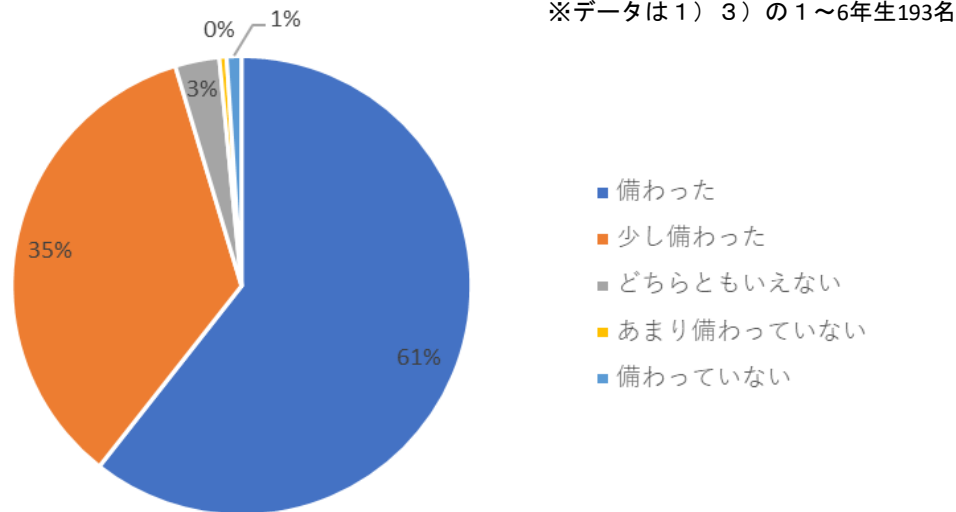


2-4. e-Lifesavingを活用した授業展開と調査

～オンラインを活用したWS授業の展開～

- 1)石岡市立園部小学校1年生～6年生 168名
- 2)福岡市立西新小学校5年生 177名
- 3)九州文化学園小学校学童1年生～6年生 25名

Q. 授業を受けて水辺で安全に遊ぶための**知識**は備わりましたか？

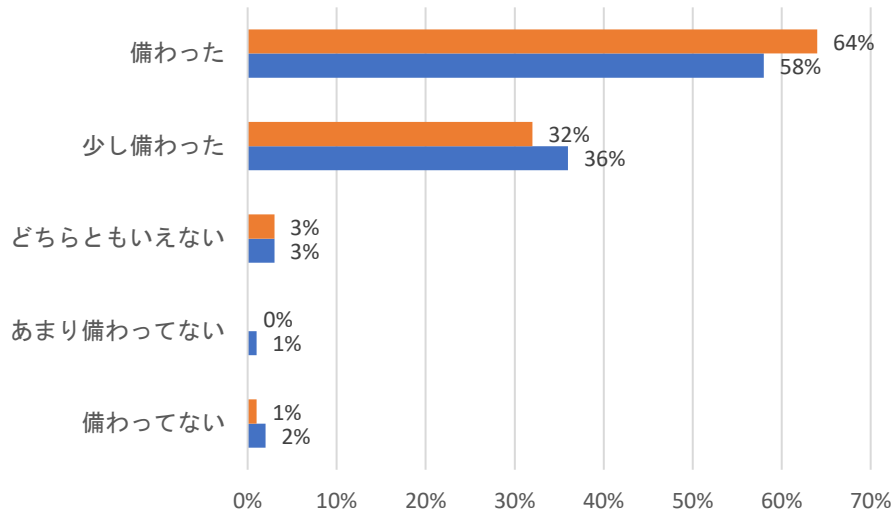


96%の児童が「知識」は備わった・少し備わったと回答。
水泳授業が実施できない学校へもオンラインを活用することで、
児童に水辺の安全に関する知識を伝えることは有効である。



2-5. e-Lifesavingを活用した授業展開と調査

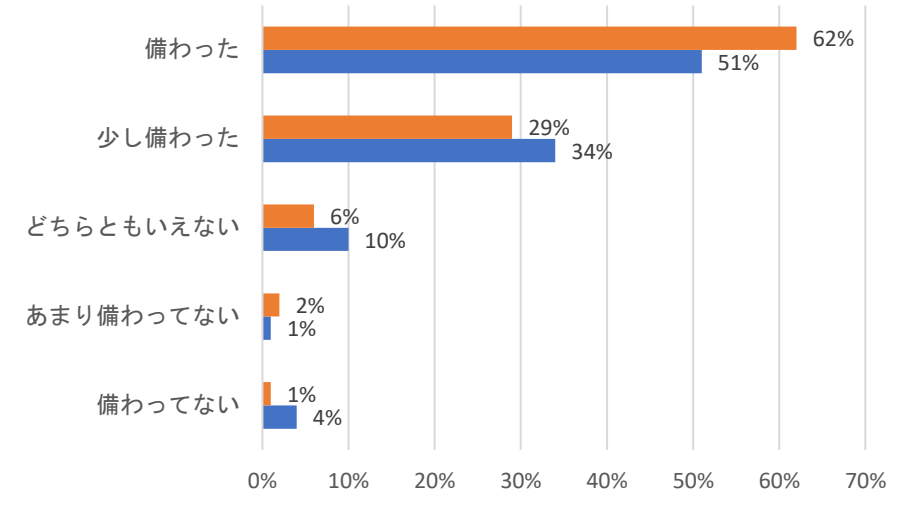
水辺の安全における**知識**は備わったか？



■ e-lifesavingとWater safety実技
■ e-lifesavingのみ

	e-Lifesaving+ Water safety	e-Lifesavingのみ
小学校低学年	53名	23名
小学校中学年	20名	49名
小学校高学年	79名	13名
中学生	121名	212名
合計	273名	297名

水辺の安全における**技能**は備わったか？



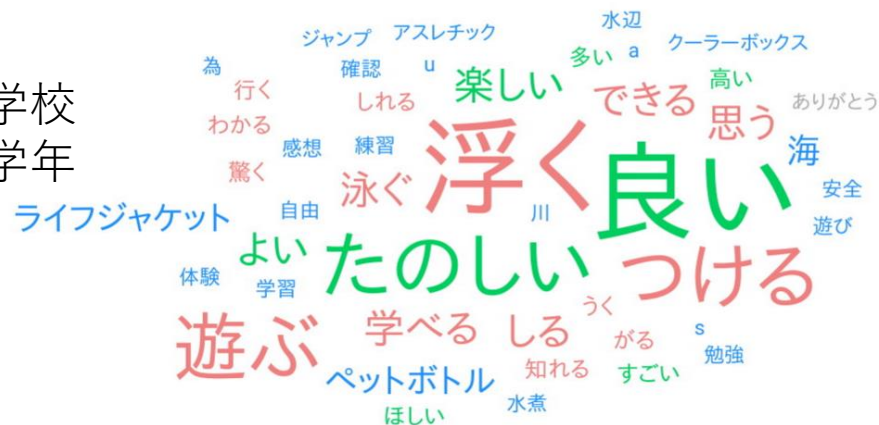
■ e-lifesavingとWater safety実技
■ e-lifesavingのみ

コロナ禍において各学校の地域性やプール授業の実施形態にばらつきがある中、調査にご協力いただける範囲で実施した。調査により、e-Lifesavingだけでもある程度の水辺の安全における知識と技能を身につけることができるため、海やプールでWSを実施しなくても、その効果が望めることがわかった。また合わせてWater safetyを実施することで、より理解度を高めることができると言える。なお、今回はWater safetyのみの実施調査が31件しか得られなかったため、次年度の課題とした。また小学校の低中学年においては「技能」という言葉への理解度にばらつきがあることも合わせて調査課題とした。

2-6. e-Lifesavingを活用した授業展開と調査

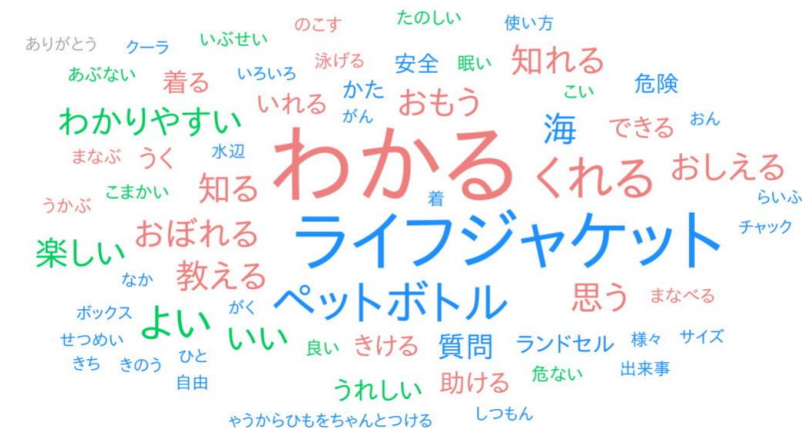
◆児童生徒が入力した自由記述欄を、ワードクラウドで頻出が高い単語を選び出し、その回数に応じて大きさ表した。青（名詞）、赤（動詞）、緑（形容詞）

小学校
低学年



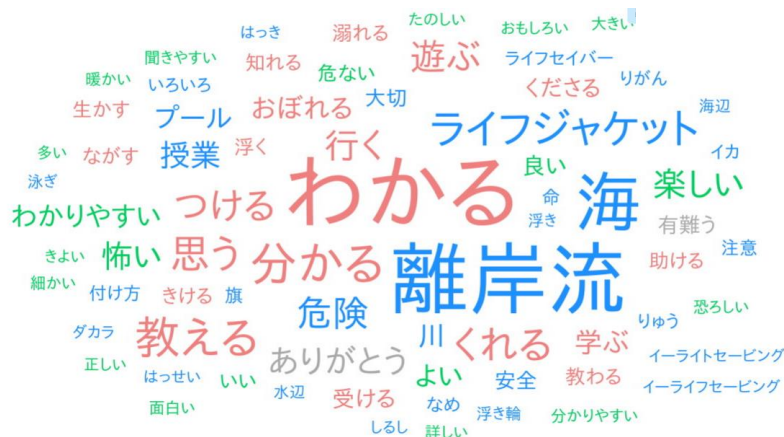
⇒簡単な単語が並ぶが、「たのしさ」が伝わり、「浮く」ことの重要性への気づきが生まれている

小学校
中学年



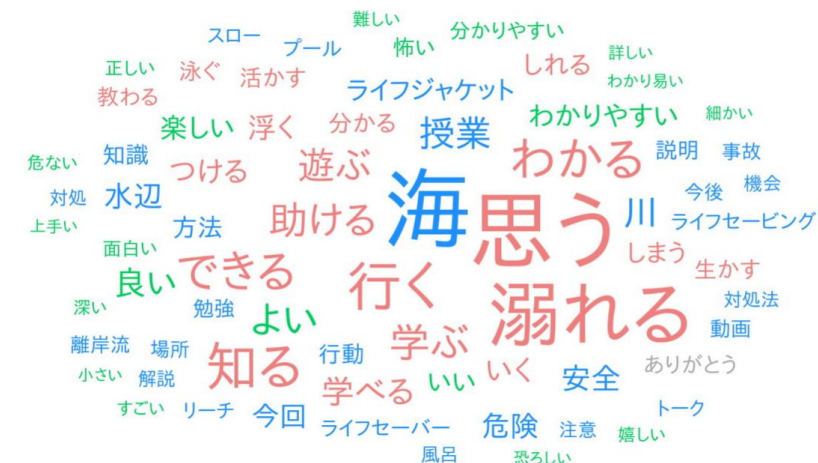
⇒「ライフジャケット」への理解や身の回りの「浮く」ものへの気づきが生まれている

小学校
高学年



⇒海のリスク要因である「離岸流」への理解や「ライフジャケット」を着用して遊ぶことの気づきが生まれている

中学生



⇒海へ行く上での「溺れないための知識」と「助ける方法」についての気づきが生きている

3-1. e-Lifesavingのアクセス解析 (広報室調べ)



2021年4月1日～8月31日時点

★1,835,506-PV(ページビュー)

★68,676ユーザー

- ✓ PV伸長率 **770%**(前年238,338PV)、
- ✓ ユーザー伸長率 **235%**(前年29,177)
- ✓ 7月に入って閲覧が伸び、7/2に71,843PVを達成
- ✓ 7/19で 181,196PV
- ✓ 7/1から8/31の2カ月間で、1,497,584PVを達成
- ✓ 全体直帰率は23.81%(前年55.53%)

※PV数が特に多かった日	
7/2	71,843PV
7/9	76,615PV
7/13	102,072PV
7/16	158,520PV
7/19	181,196PV



■ 上記伸長率は、文部科学省「学びの応援サイト」、スポーツ庁連携、神奈川県×JLA包括協定、各都道府県教育委員会、海と日本プロジェクト関連団体との連携、その他積極的な広報活動の効果といえる

■ 閲覧時期の伸びをみると、夏休み直前に活用されている傾向が強い

■ 直帰率が低くなったことは、ユーザーがサイトに留まり、閲覧してくれているという望ましい状況



3-2. e-Lifesavingのアクセス解析 (広報室調べ)



■ユーザー全体の行動
 トップページ離脱率は27%、サイト内回遊率が高い。¹⁸

3-3. e-Lifesavingのアクセス解析 (広報室調べ)

デバイス カテゴリ ?	集客			行動		
	ユーザー ? ↓	新規ユーザー ?	セッション ?	直帰率 ?	ページ/セッション ?	平均セッション時間 ?
	68,676 全体に対する割合: 100.00% (68,676)	68,063 全体に対する割合: 100.05% (68,026)	108,821 全体に対する割合: 100.00% (108,821)	23.81% ビューの平均: 23.81% (0.00%)	16.87 ビューの平均: 16.87 (0.00%)	00:10:38 ビューの平均: 00:10:38 (0.00%)
1. desktop	57,811 (84.57%)	57,570 (84.58%)	92,245 (84.77%)	20.95%	18.33	00:11:29
2. mobile	6,910 (10.11%)	6,905 (10.15%)	10,922 (10.04%)	46.96%	5.87	00:04:00
3. tablet	3,640 (5.32%)	3,588 (5.27%)	5,654 (5.20%)	25.72%	14.24	00:09:43

モバイルデバイスの情報 ?	集客			行動		
	ユーザー ? ↓	新規ユーザー ?	セッション ?	直帰率 ?	ページ/セッション ?	平均セッション時間 ?
	10,526 全体に対する割合: 15.33% (68,676)	10,493 全体に対する割合: 15.42% (68,026)	16,576 全体に対する割合: 15.23% (108,821)	39.71% ビューの平均: 23.81% (66.80%)	8.73 ビューの平均: 16.87 (-48.26%)	00:05:57 ビューの平均: 00:10:38 (-44.06%)
1. Apple iPhone	5,367 (50.82%)	5,369 (51.17%)	8,486 (51.19%)	47.90%	5.32	00:03:43
2. Apple iPad	1,820 (17.23%)	1,790 (17.06%)	3,072 (18.53%)	31.18%	15.42	00:08:41
3. Microsoft Windows RT Tablet	1,724 (16.33%)	1,703 (16.23%)	2,402 (14.49%)	18.69%	12.94	00:11:06

■ 84%のユーザーが、デスクトップから閲覧している。
→指導者が教室で映しながら実施する全集法指導の傾向



■ モバイル端末からは、Apple社のiPhoneが50%である。
→昨年度のレスポンス対応の効果。今後はJLAアプリとの連動も視野



3-4. e-Lifesavingのアクセス解析 (広報室調べ)

参照元/メディア ?	集客			行動
	ユーザー ? ↓ 全体に対する割合: 100.00% (68,676)	新規ユーザー ? 全体に対する割合: 100.05% (68,026)	セッション ? 全体に対する割合: 100.00% (108,821)	直帰率 ? ビューの平均: 23.81% (0.00%)
1. (direct) / (none)	30,735 (43.56%)	30,727 (45.14%)	45,565 (41.87%)	29.33%
2. google / organic	15,884 (22.51%)	14,942 (21.95%)	24,404 (22.43%)	17.96%
3. classroom.google.com / referral	11,427 (16.19%)	10,964 (16.11%)	19,810 (18.20%)	21.10%
4. yahoo / organic	2,950 (4.18%)	2,691 (3.95%)	4,752 (4.37%)	22.07%
5. bing / organic	2,318 (3.29%)	2,109 (3.10%)	3,404 (3.13%)	13.98%
6. loilonote.app / referral	1,688 (2.39%)	1,622 (2.38%)	2,626 (2.41%)	19.88%
7. kids.yahoo.co.jp / referral	874 (1.24%)	738 (1.08%)	1,328 (1.22%)	9.94%
8. prtims.jp / referral	768 (1.09%)	685 (1.01%)	1,196 (1.10%)	16.05%
9. miraiseed6.benesse.ne.jp / referral	565 (0.80%)	539 (0.79%)	933 (0.86%)	9.86%
10. gakkokyoiku.gakken.co.jp / referral	313 (0.44%)	308 (0.45%)	491 (0.45%)	21.79%

■ 大半のユーザーはe-Lifesavingへダイレクトに訪れている
 →目的を持ったe-Lifesavingへの訪問者がとても多い

■ classroom, loilonoteはそれぞれ学校貸与PCやタブレットで活用されているツールである
 →学校のリモート授業や課題等での活用が伺える

■ yahoo, kids.yahoo、PRTIMSはある一定の効果が得られた
 →今後もe-Lifesavingのメディアリリースや記事化など、積極的に展開したい

3-5. e-Lifesavingのアクセス解析 (広報室調べ)

■ページセッション

10分以上見ている閲覧者が多い



■閲覧コンテンツ TOP10

- 1位 『事前学習 プールに入る前に』
- 2位 『事前学習 プールに入ったら』
- 3位 『クイズ！水辺の安全って？ 初級編』



セッション
108,821
全体に対する割合: 100.00% (108,821)

ページビュー数
1,835,506
全体に対する割合: 100.00% (1,835,506)

セッション継続時間バケット	セッション	ページビュー数
0-10 秒	31,067	38,515
11-30 秒	4,747	15,897
31-60 秒	3,998	18,710
61-180 秒	8,944	67,949
181-600 秒	19,471	341,635
601-1800 秒	28,862	855,819
1801+ 秒	11,732	496,981

ページ	ページビュー数	ページ別訪問数	平均ページ滞在時間	閲覧開始数	直帰率
	1,835,506 全体に対する割合: 100.00% (1,835,506)	1,169,921 全体に対する割合: 100.00% (1,169,921)	00:00:40 ビューの平均: 00:00:40 (0.00%)	108,821 全体に対する割合: 100.00% (108,821)	23.81% ビューの平均: 23.81% (0.00%)
1. /	212,877 (11.60%)	76,429 (6.53%)	00:00:48	71,026 (65.27%)	16.98%
2. /pre-learning/	70,437 (3.84%)	38,978 (3.33%)	00:01:48	7,703 (7.08%)	17.99%
3. /pre-learning/inthepool.html	69,986 (3.81%)	28,780 (2.46%)	00:01:15	1,462 (1.34%)	35.80%
4. /quiz/beginner/	47,547 (2.59%)	31,302 (2.68%)	00:00:22	2,019 (1.86%)	10.20%
5. /videos/	47,458 (2.59%)	23,491 (2.01%)	00:00:42	3,205 (2.95%)	20.19%
6. /videos/save.html	47,069 (2.56%)	22,449 (1.92%)	00:01:23	1,807 (1.66%)	43.28%
7. /quiz/beginner/answer-b01.html	44,756 (2.44%)	29,017 (2.48%)	00:00:16	320 (0.29%)	25.31%
8. /pre-learning/tool.html	43,782 (2.39%)	21,684 (1.85%)	00:01:07	977 (0.90%)	54.19%
9. /quiz/beginner/question-b02.html	40,151 (2.19%)	27,407 (2.34%)	00:00:16	134 (0.12%)	37.31%
10. /pre-learning/index.html	39,830 (2.17%)	16,321 (1.40%)	00:01:13	1,359 (1.25%)	34.07%

4. PR活動 ホームページ・SNS・プレスリリース

- 1) 4/13 海の事故ゼロの未来をつくるノート「保護者に伝えたい お子さんが水上エア遊具で遊ぶ時の見守りポイントと意識の持ち方」 Web記事掲載
- 2) 4/21 5/16 YouTube LIVE配信「熱中症&水難事故は予防できる！」HP,FB告知
- 3) 4/26 スポーツ庁通知 水泳の事故防止について 別紙掲載
- 4) 4/28 e-Lifesaving【みんなで考えよう！】新動画「離岸流ってなに？」公開 HP,FB告知
- 5) 5/10 Yahoo「水辺の安全教育がコロナ禍で遅れがみ。水難事故から身を守る方法を学校や家で。離岸流を見分けられますか？」防災ガイドあんどうりす様 Web記事掲載
- 6) 5/16 YouTube LIVE配信「熱中症&水難事故は予防できる！」実施
- 7) 5/18 22日、24日、26日 ライフセーバー対象 実践！e-Lifesaving オンライン研修実施
- 8) 6/1 海の事故ゼロの未来をつくるノート 「海・水辺にまつわる安全・事故防止啓発情報」 Web記事掲
- 9) 6/3 「人気サーフブランドHurleyが水辺の事故ゼロをめざすライフセーバーを支える」PR TIMESリリース
- 10) 6/6 PublicLABセミナー 公民連携で本気で取り組む！子どもの事故予防 HP,FB告知告知
- 11) 6/7 PublicLABセミナー 公民連携で本気で取り組む！子どもの事故予防 講演
- 12) 6/16 海の事故ゼロの未来をつくるノート 海を100倍楽しむために！「この夏、海に行く君へ」 Web動画掲載
- 13) 6/29 夏休み直前企画！オンライン防災講座 助け合おう避難所の会 講演

熱中症&水難事故は
予防できる！

気象情報の活用
脱水対策
リスク対策
水辺の安全教育

Water Safety
sei 1:58:03

セミナー「熱中症&水難事故 :
は予防できる！」

726 回視聴・5 か月前 に配信済み

PublicLAB セミナー

speaker

矢口まゆ氏
新潟市議会議員
子どもの事故予防地方
員連絡 発起人

吉川優子氏
一般社団法人青川慎之介
記念基金 代表理事

松本貴行氏
公益財団法人日本ライフセービ
ング協会副理事長 / 教育本部長

出口貴美子氏
医学博士、小児科専門医

公民連携で本気で取り組む！
子どもの事故予防

6.7 (月) 19:00-21:00
オンライン・予約制 参加費無料

(2) プールに浮かべて使用する浮島は、学習指導要領においては使用を想定していないが、浮島の下に児童生徒が覆われたり、大きい浮島に吸引されて水面に上がれなくなる可能性があるため、浮島を使用する場合は、「消費者安全法第23条第1項の規定に基づく事故等原因調査報告書（水上設置遊具による溺水事故）」(https://www.caa.go.jp/policies/council/csic/report/report_018/assets/report_018_200619_0002.pdf)を参考に、監視等の十分な注意を払うとともに、児童生徒の安全を確保できない場合は、浮島の使用は控えること。

(3) 監視体制が十分でなかったことを要因として児童が死亡した事例、一定の技術を身に付けている児童生徒がスタート時の重大事故に遭った事例、入水の際、無理な息こらえや必要以上に深呼吸を繰り返して行かせたことなどによる重大事故事例も報告されているので十分注意すること。特に小学校低学年においては、水に十分に慣れていない児童もいることから、安全な水遊びの授業が行われるよう、十分な監視及び指導体制の確保と緊急時への備えが行われるようにすること。

2. 児童生徒の水難事故が特に学校の夏季休業に入った直後に多発する傾向にあるので、学校においては、体の調子を確認してから泳ぐ、プールなどの水泳場での注意事項を守って泳ぐなどといった水泳の事故防止に関する心得を十分指導し、PTAなどを通じて家庭にも指導の働きを要知するよう配慮すること。その際、以下の資料等も参考とすること。

① e-learningコンテンツ「守ろう！いのち」学び合おう！水辺の安全
(公益財団法人日本ライフセービング協会)
https://elearning.jla-lifesaving.or.jp/

② 水辺の安全ガイド
(公益財団法人ブルーシー・アンド・グリーンランド財団)
https://www.bgf.or.jp/safetyprogram/app/ ※ 令和3年5月30日配信予定

3. 児童生徒が個人やグループで水泳や水遊びに出かけるときには、必ず保護者や水泳の熟練者と同行するよう指導するとともに、事前に行き先、帰宅の予定日時、同行者等を家庭に知らせること。

4. 児童生徒の発達段階に応じて、海水浴・水泳等に関する事故の危険を予見し、自ら回避できるような学校、家庭、地域において適切に指導するなど安全指導の充実にも努めること。

5. 幼稚園等については、本通知のほか、「教育・保育施設等における事故防止及び事故発生時の対応のためのガイドライン【事故防止のための取組み】」（平成28年3月）https://www8.caa.go.jp/shoushi/shinsetsu/meeting/kyouiku_hoiku/pdf/guideline.pdf や、「教育・保育施設等におけるプール活動・水遊びに関する実態調査」（平成30年4月24日 消費者安全調査委員会 https://www.caa.go.jp/policies/council/csic/report/report_003/pdf/report_0003_180424_0001.pdf）も踏まえ、一層の安全対策に取り組むこと。

夏休み直前企画！オンライン防災講座

子どもの一生を守り続ける水辺の事故対策と水害対策
～アウトドアで遊びながら親子で学べる方法を伝授～

募集人数
50名様
先着順で締め切り

【日時】▶▶▶ 2021年6月29日(火) pm7:00~
アクセス開始直前時刻:pm6:45~

【会場】▶▶▶ Zoomインターネットミーティング
(インターネットでのリモートセミナーとなります)

【対象】▶▶▶ どなたでもご参加いただけます

【参加料】▶▶▶ 児童と保護者でのご参加or学生・無料
その他の方:有料500円(税込)

● アウトドア防災ガイド あんどうりす氏
水辺遊びの水害対策に役立つ 実践的なアウトドアグッズとスキルの紹介

● 公益財団法人 日本ライフセービング協会 副理事長 松本貴行氏
海の事故対策(離岸流と風)e-lifesavingを使った子ども向け事前学習の活用

● 公益財団法人 河川財団 子どもの水辺サポートセンター 主任研究員 官原一成氏
河川財団の川の事故調査からわかること 国土交通省(国土交通省)の中心 水辺安全活動

● 長野県北信医師会 救急でつなぐプロジェクト小児科専門医 佐久医療センター小児科部長 坂本昌彦氏
「子ども達がおられる」「子ども水難事故の発生をさせない」理由、水辺の水難事故の予防策

★みんなの安心避難所！スキルアップセミナー 12th★

★申込締切:2021年6月27日(日)24時

★申し込みは、QRコードからPeachフォーム、もしくは問合せ先で申し込みください。

★セミナーの名称・内容等、変更になる場合がありますのでご了承ください。

★詳しく内容等、フェイスブック、お申込み時、お問い合わせは、お電話メールで！

フェイスブック 助け合おう避難所の会 電話: 090-3500-1678 4/jasukeou2jhanjyo@gmail.com 松本貴行

2) 11) 13)

4. PR活動 ホームページ・SNS・プレスリリース

15)



14)



20)

- 14) 6/22 Water Safety Week 2021 ～守ろう!いのち 学び合おう!水辺の安全と防災!～ HP,FB告知
- 15) 6/30 Water Safety Week 2021 (7/4まで) YouTube配信
- 16) 7/1 今、あなたの力が必要な理由 水辺の事故を“未然”に防ぐ、真の“未然”は教育にある Web記事掲載
- 17) 7/7 消費者庁 子どもを事故から守る!PROJECT Web記事掲載
- 18) 7/15 7月25日 世界溺水防止デー 7.25チャレンジ告知 HP,FBnews!
- 19) 7/16 海の事故ゼロの未来をつくるノート 夏本番前に知っておきたい知識が盛りだくさん! Web記事掲載
- 20) 7/18 公明新聞「防ごう水の事故」記事掲載
- 21) 7/18 神奈川テレビ カナフルTV 知っておきたい!水辺の安全 放送
- 22) 7/19 「7月25日は世界溺水防止デー」PR TIMESリリース
- 23) 7/20 SUBARUよりライフセーバーにサポート車両 リリース
- 24) 7/22 HBSニュース 北海道放送 コロナ禍のプール授業やる?やらない? 放送
- 25) 7/26 政府インターネットテレビ 聞いてナッ得!～夏休み到来! 子供の水の事故に注意! 動画掲載
- 26) 7/25 世界溺水防止デー 情報発信
- 27) 8/24 FNNプライムオン なぜサンダルを追いかけてしまう?子どもの水難事故を防ぐ親子の条約 Web記事掲載
- 28) 8/21 e-Lifesavingの動画で学ぼう!「実験動画」に離岸流調査の様子を新たにアップ HP,FB news!
- 29) 10/1 千葉テレビ e-Lifesavingで水辺のリスクを正しく知ろう! Web記事掲載
- 30) 10/1 日本財団 海と日本in千葉県 e-Lifesavingで水辺のリスクを正しく知ろう! Web記事掲載
- 31) 10/1 LINEニュース e-Lifesavingで水辺のリスクを正しく知ろう! Web記事掲載
- 32) 10/1 YAHOO!ニュース e-Lifesavingで水辺のリスクを正しく知ろう! Web記事掲載



21)



24)



25)

23

4. PR活動 ホームページ・SNS・プレスリリース

出典 公益財団法人 日本ライフセービング協会 e-Lifesaving 楽しいのに深く学べるコンテンツが多数

こんな時、使えるコンテンツが、公益財団法人 日本ライフセービング協会がまとめた e-Lifesaving (助成：日本財団 制作協力：学研教育みらい) です。e-Lifesavingは、水辺の安全対策をよく知らない先生だったとしても、この教材を使えば、プール、海、川の安全確保と事故防止について、「子どもたちに何をどう学ばせたいか?」がわかる無料コンテンツなので、パパママが活用することも可能です。

みなさんは、この記事の最初の写真の中から、「沖に向かう流れ=離岸流」を見分けられましたか?

もしわからなければ、海で身を守る知恵を身につけていないままかもしれません。繰り返しますが、e-Lifesavingは無料です。活用すれば、生涯、自分を守ってくれる知恵を身につけられます。

子どものうちに海辺(水辺)の知恵を身につけておく必要性

子どもが水難事故にあうのは痛ましいですし、身を守るための知恵がないまま大人にな

消費者庁
Consumer Affairs Agency, Government of Japan

子どもを事故から守る! PROJECT

News Release
令和3年7月7日

もうすぐ夏本番! 外出先での子どもの水の事故に御注意ください!
一海水浴、水泳、釣り等で水辺へお出かけの際は、危険箇所等を事前に把握し、水辺で遊ぶときはライフジャケットを必ず着用しましょう

警察庁によると、海、川、プール等の水域で発生する水難は7～8月の夏期に集中し、中には子どもが死亡する事故も発生しています。また、新型コロナウイルス感染拡大防止のため開設を取りやめる海水浴場もあり、ライフセーバーや監視員等の不在による救助の遅れなども懸念されます。

消費者庁では、関係機関から呼びかけられている水の事故防止のためのポイントをとめましたので、水辺へのお出かけの前にぜひチェックしましょう。

子どもの水の事故を防止するためのポイント

海

- 新型コロナウイルス感染拡大防止のため開設しない海水浴場もありますが、**ライフセーバーや監視員等がいるなど適切に安全管理が行われている海水浴場で、指定された遊泳エリア内であることを確認して泳ぎましょう。**必要に応じて、**ライフジャケット**を使用しましょう。**遊泳禁止となっている場所では、絶対に泳がないでください。**
- 海の状態は、日ごと、時間ごとに変化します。風の向きや波の高さ、満潮か干潮かをしっかり確かめてから入りましょう。大人はKeep Watchを心がけ、子どもから**目を離さずに手の届く範囲で見守りましょう。**
- 離岸流に注意! 発生しやすい場所や対処などを知っておきましょう。
離岸流(リップカレント)とは、沖に向かって発生する強い流れのことです。日本ライフセービング協会(以下「JLA」という。)によると、海水浴場における溺水事故の自然要因の多くが離岸流によるものです¹。河口付近、堤防沿い等の人工物付近、岩場など**離岸流が発生しやすい場所には入水しないでください**(図1)²。

図1 離岸流の発生しやすい場所

¹ JLA ANNUAL REPORT2019
² JLA e-Lifesaving<事前学習>海編
<https://elearning.jla-lifesaving.or.jp/pre-learning/sea.html>

<参考4>

水の事故防止を目的とした資料、ウェブサイト、学習動画等のコンテンツはウェブサイト上に豊富に存在しています。その一部をとりまとめたので、水辺に出かける前に、安全に楽しく遊ぶためにどのようなことに注意すれば良いか、家族で話し合ってみましょう。

(1) 水の事故全般に関する参考資料等
警察庁「令和2年における水難の概況」
https://www.npa.go.jp/publications/statistics/safetylife/chiiki/R02s_uinan_gaikyou.pdf

警察庁「令和2年夏期における水難の概況」
https://www.npa.go.jp/publications/statistics/safetylife/chiiki/R2_k_aki_suinan.pdf

政府広報「水の事故、山の事故を防いで 海、川、山を安全に楽しむために」(令和3年7月1日)
<https://www.gov-online.go.jp/useful/article/201407/3.html>

(公財)日本ライフセービング協会「e-Lifesaving」

<https://elearning.jla-lifesaving.or.jp/>

5) <https://news.yahoo.co.jp/byline/andorisu/20210510-00235599>

17) https://www.caa.go.jp/policies/policy/consumer_safety/caution/caution_051/assets/caution_051_210707_0001.pdf

5. 今後のコンテンツ拡充予定



事前学習 みんなで考えよう! 動画で学ぼう! クイズ!水辺の安全って? 資料集 応援メッセージ お問い合わせ

The screenshot shows the main interface of the e-Lifesaving program. At the top, there are navigation buttons for 'ワークシート' (Worksheet) and '応援メッセージ +α' (Support Message +α). The main heading is '守ろう!いのち 学び合おう!水辺の安全 Swim & Survive'. Below this, there are four main content columns: '事前学習' (Pre-learning), 'みんなで考えよう!' (Let's think together!), '動画で学ぼう!' (Learn with video!), and 'クイズ!水辺の安全って?' (Quiz! Water safety?). Each column contains several sub-buttons for different topics like 'プール編' (Pool), '海編' (Sea), '川編' (River), '防災編' (Disaster), etc. On the right side, there are additional buttons for '関連資料 +α' (Related materials +α) and '実験動画 +α' (Experiment video +α).

Stage 4 (2022)

Stage 5 (2023)

教えて!ライフガード

ライフセーバーのいる海水浴場

みんなで考えよう「字幕」「英訳機能」

みんなで考えよう「字幕」「英訳機能」

防災編

用水路、ため池編

制作協力: 学研教育みらい